

地域移行促進部会活動報告

(精神グループ)

第3回を1月17日に開催し、第2回の検討の際に出された以下の課題について議論を深め、取り組み策を検討した。

(1) 現在区内で一般の指定をとっている事業所は7カ所（内実働しているのは精神系だと2所）しかない。今後地域移行を積極的に進めるにあたっては、実際の支援を行う一般相談支援事業所を増やすことが必要である。

(取り組み)

○地域移行について各事業所がどのくらい理解しているか、サポートできる体制等あれば一般の指定を取るところも増えるのか？などの課題提起と情報収集を目的に調査し、今後の検討材料とすることを確認。

アンケートについては、先日の本会幹事会で実施の同意を得ているので、本日検討したアンケート項目で特定相談支援事業所に協力を依頼する。

○今後のスケジュール

- ・1月18日のサービス等利用計画作成研修で協力を依頼。1月末を回答期限とする。
- ・実施報告を2月20日の自立支援協議会本会で行う。
- ・3月に第4回の部会を開催し、アンケート結果を基に次年度の取り組みを具体的に検討する。

(2) 近隣の精神科病院とはだいぶ関係性ができてきており、地域移行プレ相談や地域移行の相談も増えている。が、実際入院前住所が杉並にある方の多くは八王子や青梅方面の病院に入院している。その近隣の病院は遠方ということでこれまで手が付けられていない状況がある。今後、これまでアプローチできていない病院にどのように入っていくか？入院者の実態も把握する必要がある。

(取り組み)

○630調査で把握している精神科病院へ、病院側が退院促進（地域移行）についてどのようなスタンスでいるか？杉並区住所の入院者が何人いるか？その方達は具体的に退院できる状況か等を把握し、退院や地域移行が進まない阻害要因は何かを明らかにする目的でアンケート調査を実施する。

○アンケートを返送してくれた病院に対して、第2段階として患者様向けのアンケートを実施する。このアンケートは、杉並で退院の支援をしている、区が関心を持っているということを知ってもらうことを一番の目的とする。

よって、知ってもらいたい内容のリーフレットなどを作成し、情報を届けることも検討。

○受け入れのよさそうな病院へは、すぎなみ会議の協力も得ながらチームを編成し病院を訪問する。

●2月20日の本会にて報告、取り組みを提案し承認を得たうえで、次回の部会でアンケートの内容を検討する。実施については、次年度を予定。